✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　平成 29 年度気象振興協議会定期総会の開催について

気象事業や気象情報に関わる気象事業者や報道機関などの機関を会員として運営されている気象振興協議会の定期総会が、7 月 18 日 15 時から千代田区神田錦町の四季交楽 然において 30 会員 41 名が出席（委任 10 会員）し行われました。

定期総会では木本会長のご挨拶に続き気象庁長官代理として気象庁総務部情報利用推進課の木村課長にご挨拶をいただきました。

総会議案は会員の異動報告の了承に続いて、平成 28 年度の事業報告（案）及び収支決算書（案）、平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算書（案）について事務局から説明されました。

特に事業報告では、昨年度の定期総会において、今後の気象振興協議会の活動のあり方について平成 28 年末を目途に検討を進めその結果を総会に報告することになっていたことの説明が行われました。

また、実施したアンケート結果から、気象庁との関係で改善を求める意見があり、これらの意見が提出されたことについて気象庁に要望を伝えると共に、可能な部分から改善が図られるよう努力していくことが言われました。その他の意見では概ね現状どおり協議会活動を継続していくことについて、審議がなされました。

提案された全ての議案について、原案通り満場一致で承認されました。

総会議事終了後の記念講演では、気象庁地球環境・海洋部気候情報課　前田課長から「1 か月先までの全球アンサンブル予報をしゃぶり尽くしてみませんか？」と題した講演をいただきました。はじめに 1 か月予報に関わる大気の現象と予測可能性について事例を含めてお話しいただき、全球アンサンブル予報の精度が向上してきたことと、潜在的利用価値のわりには社会で使われていないこと。また、気象庁ではプロダクトを一層改善するのでもっともっと利用してほしいとのお話がありました。

（振興部）